

9. <事例7>共同輸送データベースの普及によるサプライチェーンにおけるエネルギー効率の向上実証事業/traevo株式会社

事業概要

- 共通システムの導入により各社の輸送情報を連携しリアルタイムで配送状況の把握が可能
- 共同輸配送マッチングシステムの導入により、帰り荷の空車率を削減し、輸送効率の向上を目指す

事業スキーム		事業者情報	
<p>【取組前】</p>			
<p>【取組後】</p>			
業界(輸送品目)			
申請者 (従業員数)		小売り(食品) 代表:システム関連会社 (2名) 共同:食品メーカー (約1,900名) 輸送事業者 (約530名) 量販店 (約3,000名)	
導入システム 及び機器		共通システム: 輸送情報のトラッキングシステム 輸送効率化機器: 共同輸送マッチングシステム	
従前の 物流課題		個社サプライチェーン内の課題 <ul style="list-style-type: none"> ■発荷主/着荷主 <ul style="list-style-type: none"> ・自社努力による輸配達効率向上の限界 ・積載率・へき地輸送の非効率化 ■輸送事業者 <ul style="list-style-type: none"> ・ドライバー不足 ・既存ビジネスからの拡張展開 	
事業費		補助対象経費:14,184,200円 補助金の額: 7,092,000円	
エネルギー 消費削減量(率)		3.6MJ/t・km (51%)	